

<p><b>【技術の名称】</b>                  SB パイルキャップ工法                  -鋼製杭頭リングを用いた杭頭接合法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第08-15号                  性能証明発効日：2009年1月13日</p> <p><b>【取得者】</b>                  木内建設株式会社                  サンベース株式会社</p>
---	--

**【技術の概要】**

本技術は、鉄骨コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造の基礎梁、既製杭、ならびにそれらを接合する杭頭接合部で構成される杭頭半剛接合法である。杭頭接合部は、パイルキャップと呼ばれ、鋼製の杭頭リング、定着筋、U形接合筋を配置し、基礎梁部と同時にコンクリートが打設され、基礎梁および既製杭と一体化される。定着筋と杭頭部は、1)杭頭端板方式、2)杭頭ねじ込み方式、3)中詰め方式のいずれかの方式で接合される。本工法では、杭頭接合部を含む基礎は上部構造体と独立に設計し、杭頭接合部の各構成部位は、杭頭接合部の終局耐力が杭頭部接合面での曲げ終局耐力によって決定するように設計することを基本としている。

**【技術開発の趣旨】**

本技術は、設計で保証すべき杭頭接合部の目標性能を満足させつつ、杭頭部と杭頭接合部の間での鉄筋工事の軽減を意図して開発されている。

**【性能証明の内容】**

申込者提案の杭頭接合部は、長期荷重時に使用上支障となるひび割れ等の損傷、ならびに短期荷重時に修復性を損なうひび割れ等の損傷を起さず、設計・製造・施工要項で定める終局耐力以上の耐力を有すると判断される。

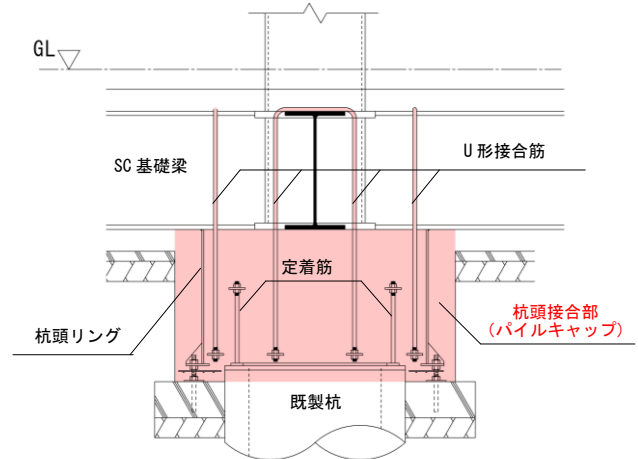


図1 SC基礎梁対応例

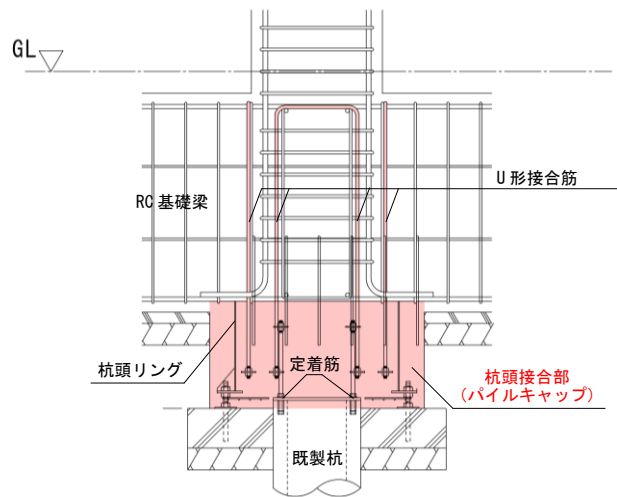


図2 RC基礎梁対応例

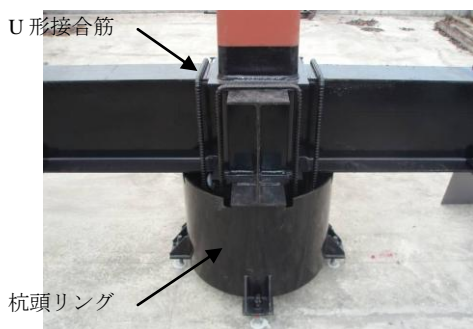


写真1 SC基礎梁対応例

**【本技術の問合せ先】**

木内建設株式会社 担当者：筏井文隆  
 〒422-8633 静岡市駿河区国吉田 1-7-37  
 サンベース株式会社 担当者：小野田和雄  
 〒422-8633 静岡市駿河区宮竹 1-14-20

E-mail：ikadai@kiuchi.co.jp  
 TEL：054-264-7127 FAX：054-265-8725  
 E-mail：sendai@sanbase.co.jp  
 TEL：054-237-1190 FAX：054-237-9355